

問 鹿角パークホテルへの3億円の補助金が無駄にならない今後の支援体制をどう考えているか。

答 今後直接的に支援することは考えていないが、市全体の対策の中で必要な連携を図りながら中心市街地の活性化に取り組んでいく。

農林業支援について

問 森林整備や保全など気候変動対策の一環として設けられた森林環境譲与税の本市における利用状況は。

答 令和3年度までの譲与税の総額は約1億7百万円で執行予定額は約2千9百万円、率にして27%である。

主な執行内容は森林経営管理推進事業費のほか、地域林政アドバイザー等の人件費、木育推進事業、林業の新規就業者支援等となっている。

新年度は、より広大な規模の現地調査を効率的に行うため航空レーザ測量の導入を予定しており、譲与税を効果的に活用し永続的な森林管理と保全に努め

ていく。

問 鳥獣被害対策において、近年目撃件数が増えているイノシシ・ニホンジカの対応策は。

答 新たな脅威となっているイノシシやニホンジカへの対応策については、猟友会会員向けに、くくり罠による捕獲方法の講習会の開催や実際に罠の取り付けを行うなど、捕獲体制の強化を図っているところである。引き続き誘引物の除去や緩衝帯の整備、電気柵の設置等の自衛策など、鳥獣被害の防止に向けた周知に努めていく。



録画配信はこちらから

安保誠一郎 議員 (無会派)

質問時間 30分

質問した項目

- 観光地のトイレ管理について
- 再開支援後の鹿角パークホテルについて
- 農林業支援について



丸岡 孝文 議員 (無会派)

質問時間 30分

質問した項目

- プレミアム付商品券の発行について
- ふるさと納税の絆プラン事業について
- アレルギーを持つ児童生徒の給食について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について



問 過去のプレミアム付商品券発行の費用は。

答 補助金方式が8回で発行実績27億5千4百万円、市費は約2億7千7百万円、委託方式が2回で発行実績11億9千2百万円、市費は2億5千9百万円うち、2千470万円が事務委託経費である。

プレミアム付商品券の発行について

問 コロナ禍で収入が不安定になってきている中、食料品や日用品の値上げが行われ、暖房に必要な電気や灯油、移動手段用のガソリンも値上がりが続き、大半の市民はこれから暮らしに不安を抱いている。プレミアム付商品券はそれ自体がおまけのついた商品であり購入できる人だけが得をし、その発行に要する費用は買えない人も払っている税金であり、これでは不公平感が大きくなるばかりである。

れば世帯一律約7千円の配布が可能と考えるが手法の変更ができないか。

答 プレミアム付商品券事業は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けている事業者への事業継続支援と市内経済の回復を目的としている。世帯一律の配布は生活者支援となり経済効果は限定的になることから、商品券の購入額にプレミアム率を付与することで消費行動を喚起し、大きな経済効果を生むことを見込んでいる。生活者支援については非課税世帯などに臨時特別給付金事業を実施している。今後も情勢を捉えながら公平・公正に事業を推進していく。



録画配信はこちらから